



ソフトバンク<9434>、傘下のSBテクノロジー<4726>をTOBで完全子会社化



ソフトバンクは25日、子会社で東証プライム上場のSBテクノロジーに対して完全子会社化を目的にTOB（株式公開買い付け）を実施すると発表した。ソフトバンクは現在52.81%の株式を所有する。買付代金は最大282億9300万円。SBテクノロジーのエンジニア、セキュリティー・クラウドサービスなどを取り込み、グループ全体で経営資源を相互活用し、国内ITサービス市場での競争力の保持・向上につなげる。

SBテクノロジー株の買付価格は1株につき2950円。TOB公表前日の終値2048円に44.04%のプレミアムを加えた。買付予定数は959万933株で、下限は所有割合13.85%にあたる281万5600株。買付期間は4月26日～6月11日の30営業日。決済の開始日は6月18日。公開買付代理人は野村証券。

SBテクノロジーはTOBに賛同意見を表明し、株主に応募を推奨することを決めた。

SBテクノロジーは1990年にソフトバンク（現ソフトバンクグループ）の下で、ソフトウェアの試験・評価や海外ソフトウェアの国内への導入などを目的に、ソフトバンク技研として発足。1999年にソフトバンク・テクノロジーに社名を変更し、同年に株式を店頭登録した。2004年に東証2部に上場後、2006年に東証1部に昇格（2022年東証プライム市場に移行）。この間、2019年に現社名に改めた。